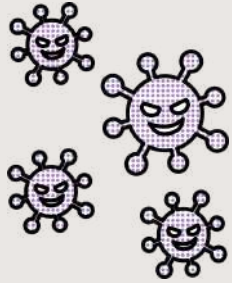


高齢者のICT利活用推進に向けた 個別相談会の検討

～高山市デジタルなんでも相談会の実施を通して～

名古屋大学大学院情報学研究科社会情報学専攻
長元 真実，浦田 真由，遠藤 守，安田 孝美

日本の高齢化とデジタルデバイド



コロナ感染症の流行

非接触
非対面



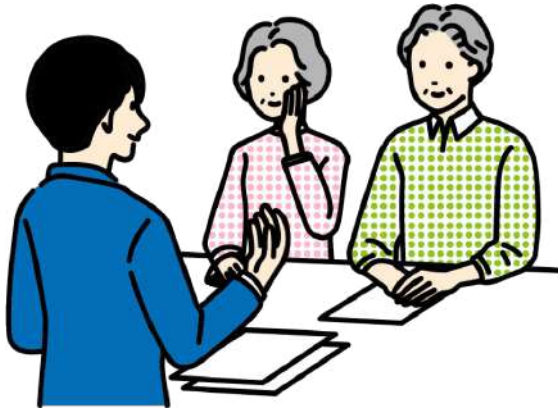
行政手続きのデジタル化



多くの高齢者がデジタル
を活用できない

高齢者のデジタルデバイス解消に向けた取り組み

デジタル活用支援事業



携帯ショップでの講習会

- 携帯ショップは契約させられる？
- 習得には繰り返し必要

より身近な場所・存在に相談できる
体制作りが必要

目的：高齢者のICT 利活用の地域支援体制の構築



本研究での支援体制



高齢者の
デジタル
活用の現状



相談会の形式
支援の提案

広報・予約



相談会の実施



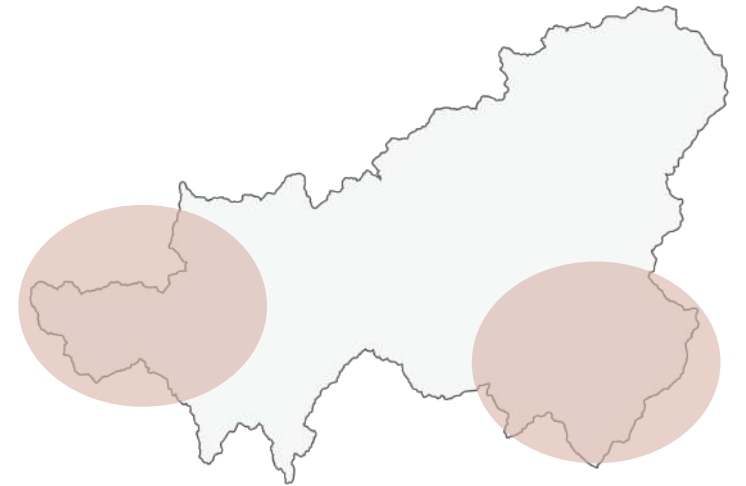
高山の現状

高齢化率

全国平均 29.1%

高山市 **33.4%**

- 高山 31.8%
- 荘川 **42.9%**
- 高根 **68.2%**



高齢化が進んでおり、
市街地から**遠い地域**でより進んでいる

高齢者のデジタルデバイス解消に向けた取り組み



高齢者向け個別形式の
デジタルに関する相談会

第1回 2021年11月

- デジタル相談会の形式を検討する
- 相談内容の調査

第2回 2022年7月

- 初心者への支援
- 地域で継続的な実施に向けた取り組み

概要



目的

デジタル相談会のあり方を
検討する

- ✓ 予約制
- ✓ 相談時間…60分
- ✓ 実施場所…高山市図書館煥章館

事前予約

お気軽にお越しください

デジタル なんでも 相談会

デジタルを活用したいシニアの方歓迎！！



令和3年 **11/23** (火・祝)
10:00~12:00

受付時間 ① 10:00~
② 11:00~

対象：65歳以上の高山市民

参加費：無料

定員：10組 1組2名まで
(要予約, 詳細は裏面)

高山市図書館 煥章館
生涯学習ホール

スマホ・パソコンなどお持ちのデジタル機器の使い方を個別に相談できます。またスマートスピーカーやスマートウォッチなど最新の情報機器を体験することもできます。スマホをお持ちの方はご持参ください。デジタルに不慣れな方・ご年配の方も気になることや困ったことを気軽に相談していただけます。皆さまお誘い合わせの上、ぜひご参加ください！

問合せ：高山市高年介護課 (TEL：0577-57-5200)

主催：高山市/名古屋大学安田・遠藤・浦田研究室

広報

- ・ チラシの設置
- ・ メールの配信

予約

- ・ 電話



内容に合わせて
担当者の割振や資料の作成

事前予約



メモ

- 日々の生活で見つかる質問をメモにまとめている

事前予約により，忘れてしまう
デジタルに関する疑問を準備できる

実施内容

説明用紙



相談内容

ブース番号: 3
開始時間: 10:00

高山市
デジタルなんでも相談会

- (6) 新しい写真編集
- (5) USBの取りはずし

相談内容

- 古いPC → new PCに写真、文章、
取りUSBの使い方、ファイルの移し方 (3) ダブルクリックと
(2) Picasaの代わり、シングルクリックの違い
(4) 2つ同時に
説明 (1) ファイルの中の、コンピューターの中のリムーバブルディスクを開く
・ 移動したいファイルと成るの画面を開く
・ パソコンから、USBに、ドラッグ＆ドロップする
・ 右クリックして、コピー、貼り付けでも可能
(2) chromeを開く、左上のメニュー、ファイル
(3) シングル → 選択
(4) ctrlを使う
(5) USBを右クリック → 取り出し

解決方法

結果



実施場所

- 参加者にとって身近な場所
- 相談会に飛び入り参加した高齢者もいた

気軽に参加でき、
住民に取り組みを知ってもらえる場

概要

令和4年
7/18 (月・祝)

学生

高山市



地域の
高齢者

1組2名まで

問い合わせ 高山市役所高年介護課(TEL : 0577-57-5200)
主催 高山市, 名古屋大学 安田・遠藤・浦田研究室

目的

体験会の実施と形式の検討
地域での継続的な実施に向けた取り組み

- ✓体験会のコンテンツ選定
- ✓地域の担い手…職員による支援の実施

実施内容

1  行きたい場所まで ルート検索	2  さるぼぼコイン の利用開始 をサポート	3  Zoomの使い方
4  健康管理や脳トレ もアプリから	5  スマホの 便利な機能を 体験できます 世界の最新情報 ポケモン YouTube	6  お試し還付金申請
7  熊見つけたよ！ 通報	8  新しい趣味は 動画で始める	

体験会

スマホの新たな利用方をの
提案し，学生の支援のもと
実際に使ってもらう。

- ✓体験会のコンテンツ選定
- ✓作成資料の有用性

実施内容

5. 知りたいことをスマホで調べる iPhone版

1 Safariを開く

ホーム画面で「Safari」
をタップ



2 調べたいことを入力する

「検索/Webサイト名入力」
をタップ、調べたいことを
入力し、「開く」をタップ
する



3 検索結果からサイトを見る

検索結果には複数のwebサイトが表示
されるので、気になるものからいくつ
か見ていきましょう



ポイント

キーワードで検索する

キーワードを複数入力するとAND(かつ)で検索できます。

例) ぶたとなすを使うレシピを調べたい ▶「ぶた なす レシピ」

情報を複数のサイトで確認する

インターネットの情報は誰でも発信でき、誤った情報も流れています。

複数の情報源を比較することで正確さを高めることができます。

体験会

スマホの新たな利用方をの
提案し，学生の支援のもと
実際に使ってもらおう。

- ✓体験会のコンテンツ選定
- ✓作成資料の有用性

実施内容



学生によるオンラインの補助と地域の担い手による支援の実施

職員が地域の高齢者の支援を行う。Zoomで遠隔地から学生が補助を行う。

✓オンラインでの補助の有用性

✓地域の担い手…職員による支援の実施

結果



職員からコメント

良い評価

- ・ オンラインの補助があると嬉しい

課題

- ・ 参加者のスマホの画面共有ができないので情報共有が難しい

オンラインでの補助は活用の可能性あり

まとめ

実施要件

相談会



- 個別，事前予約
- 丁寧さ，わかりやすさが重要

体験会



- 地域に合わせた実用的なコンテンツ選定

支援と担い手



- オンラインでの支援も実施可能
- 専門的な人材以外でも支援可能

まとめ

今後に向けて

実施場所



- 住民の身近な場所
- 情報アクセスを支援する新たな活用事例

担い手



- 継続的な支援には身近な担い手が必須
- 地元の高校生など

辺境地への支援



- 地域の担い手による支援とビデオ通話を用いた専門家の補助